

動画を駆使した LIVE! KOUBA

「LIVE! KOUBA -燕三条 動画と配信-」

ものづくりの現場を見学、体験できるイベント「燕三条 工場の祭典」は、今年度の開催を見送ることとなりましたが、新たな取り組みとして、10月の1か月間、KOUBAの様子やものづくりの現場の製造風景をオンラインで配信しました。「和釘」「塗装」「研磨・絞り」「食器」など、日ごとに異なる23のカテゴリーで、ダイナミックな現場の緻密なものづくりの様子をお届けしました。

○短編動画37本／
ライブ配信23本



© 「燕三条 工場の祭典」実行委員会

「燕三条 工場の祭典」公式サイトリニューアル

11月にリニューアルした公式サイトでは、配信したすべての動画を視聴できるほか、2013年から2019年までの「燕三条 工場の祭典」開催概要や参加KOUBAの情報、400年に及ぶ燕三条のものづくりの変遷を紹介する産地の系統樹などを掲載しています。今後も燕三条のものづくりの歴史など新たな情報を加えて更新していきます。



<https://kouba-fes.jp>

まちの魅力を 肌で感じる。

燕三条まちあるき2020

製造業が多い街として全国に知られる燕三条。「燕三条まちあるき」は、そんなこのまちならではの魅力を、地元ナビゲーターと共に巡りながら肌で感じてもらおうという企画です。年2回、春(4~5月)と秋(10~11月)に開催し、今年で12年目となります。

今年はコロナ禍となりましたが、感染防止対策をとって開催。少人数で、主に屋外を巡る「燕三条まちあるき」は、安心して楽しめる場となったようでした。また、「普段、何気なく通り過ぎていたまちの歴史を知ることができた」「一人で歩くだけでは分らない発見があり楽しめた」などの声もあり、ナビゲーターの説明やこの時ならではの体験を通して、燕三条の魅力を知っていただく機会となったと、このイベントの意義を感じています。

ものづくり、歴史、食、自然など、燕三条の様々な魅力を発見できる「燕三条まちあるき」。今後も、より多くの皆様に楽しんでいただける企画をお届けしていきたいと思います。

コース情報は、公式サイトでご覧いただけます。
<https://www.tsubasan-aruki.jp/>



リサーチコアでは、企業支援のために様々なご相談を承っています。
少しでも困ったことや知りたいことがありましたら、まずはお気軽にご相談ください。

TEL.0256-35-7811 www.tsjiba.or.jp

企業紹介
に関するご相談

新商品企画
デザイン
に関するご相談

技術
に関するご相談

特許
に関するご相談

海外展開
に関するご相談

支援制度
に関するご相談

専門家
(技術・特許・IT・経営)
を派遣します。

支援メニューのご紹介

リサーチコアでは、技術開発、IT活用、経営戦略等で課題が発生した場合に、専門的知識を有するアドバイザーを派遣する制度や特許・実用新案・意匠・商標などの知的財産権について、弁理士が相談に応じる相談会を開催しています。
詳しくは産業振興部(TEL:0256-35-7811)までお問合せください。

■専門家派遣制度<初回無料>

燕三条地域に事業所を有する方であれば、1年に3回までご利用できます。1回のご利用は無料ですが、2回目以降のご利用からは有料となります。※相談内容が外部へ漏洩することはありません。

○技術：材料および熱処理について相談したい／新材料の活用法や新技術開発に取り組みたい／製造現場・生産管理の改善を行いたい

○IT活用：情報機器や各種ソフトウェアの操作を知りたい／ITを活用した社内事務作業の効率化を計りたい

○経営：販路開拓、流通に関する疑問を解消したい／経営基盤を強くしたい

■『特許相談会』<無料>

弁理士が無料で相談に応じます。毎月1回開催。自社商品・技術のアイデアを保護するためにはどうしたら良いのか？／自社商品の類似品が見つかった。どう対応すれば良いのか？／自社商品を発売するが他社からの模倣を防ぎたい…／商品開発段階での知財戦略について進め方を教えてほしい／他社と共同で製品化した場合どうしたらよいかアドバイスしてほしい※出願業務の代行はいたしません。



リサーチコアレポート Vol.23

Researchcore Report

リサーチコアの出来事、情報を皆様にお届け——。



燕三条地場産業振興センター

Top Report

燕三条の魅力を 料理で表現

銀座 極「燕三条・食と匠との出会い」 報告



2nd Report

○ブランギングアート展2020

3rd Report

○オンライン見本市「燕三条ものづくりメッセ2020」

4th Report

○地場産Instagram

Others

○LIVE! KOUBA -燕三条 動画と配信-/○燕三条まちあるき2020





Top Report

ものづくりと料理で燕三条を発信!

銀座 極「燕三条・食と匠との出会い」

会期：令和2年9月18日(金)～10月18日(日)

会場：THE GRAND GINZA レストラン「極 -KIWAMI-」

【東京都中央区銀座6丁目10-1 GINZA SIX 13F】

燕三条とTHE GRAND GINZA内のレストラン「極-KIWAMI-」(本社:バリューマネジメント株式会社 所在地:大阪府大阪市)とのコラボレーション企画『燕三条・食と匠との出会い』(期間レストラン)を開催しました。

食の宝庫・新潟、ものづくりのまち燕三条、ハイクラストレンドの源流・銀座。目の前で行われるシェフのパフォーマンスと、選び抜いた道具や食材についての会話を楽しみつつ味わうフレンチ料理。限定席数のシェフズカウンターでは、燕三条の道具一つ一つのデザインに合わせ、新潟の食材をふんだんに使ったメニューが提供されました。

新しい生活様式が提唱される今だからこそ、事態が収束した未来に向けて「もっと見たくなる・もっと知りたくなる・燕三条に行きたくなる」そんな動機付けができる機会になったと思います。



事業排出物が生み出す 芸術作品

ブランкиングアート展2020

会期：令和2年10月9日(金)～令和3年1月11日(月・祝)

会場：燕三条Wing(JR燕三条駅2F)

燕三条地場産業振興センターリサーチコア



VR展示場：公式サイトから作品をご覧いただけます。

<http://blanking-art.jp/vr.html>

ブランкиングアート®とは、製造工程で排出される事業排出物(ブランク材)を使い、創意工夫によって新しい作品(製品)に生まれ変わらせることで、「モノづくりの心と技」を表現しようという取り組みです。

第7回となる今年は、新しい生活様式に対応して、実際の展示会場をそのまま体感していただける「VR展示場」をオープンしました。会場では見ることのできない視点からの画像や作品のクローズアップなど、ブランкиングアートの新しい世界をお楽しみください。



3rd Report

ものづくりの現場が目の前に!!

オンライン見本市「燕三条ものづくりメッセ2020」

会期：令和2年10月22日(木)～23日(金)

プレオープン・来場登録受付 10月15日(木)～

会場：特設ホームページ <https://tsm.tsjiba.or.jp/2020online/>

出展者数：172社・団体

燕三条地域[104]、新潟県内(燕三条地域を除く)[33]、県外[35]

出展分野：加工技術分野[103]、民生品分野[21]、機械装置分野[21]、

ソリューション分野[22]、教育・研究機関分野[2]、産業支援機関[3]

オンライン商談▷申込数:258件、商談件数:170件

メッセージ交流▷発信数:2,461件、既読:1,468件、返信:570件

○パネルディスカッション 10/22(木)15:30～17:00 聴講者245名

「コロナ禍が続く困難な状況下でのものづくり中小企業を考える」

—グローバル・ニッチトップ企業等の対応と今後の展開—

○技術講演会 10/23(金)13:30～16:00 聴講者191名

「中小企業での金属3Dプリンタの活用」

○出展者プレゼンテーション(20社)

10.22 10.23 (THU 2020 FRI 2020)
10:00 → 17:00
ものづくりの現場が目の前に!!

Impact! 燕三条!
オンライン見本市
燕三条ものづくりメッセ 2020
TsubameSanjo Manufacturing Messe

Enter 主催者代表スタッフ
HOME ABOUT 参加方法 出展企業
ウェビナー 燕三条リンク集 PRESSの方へ FAQ
出展企業紹介動画
ほぼ全ての出展企業が紹介動画を用意

今回で7回目の開催となる燕三条ものづくりメッセは、4月の出展者募集時はリアル形式での開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大や政府による緊急事態宣言の発出により、リアル形式での展示会がことごとく中止となり、地域企業の商談の機会が激減し、経済活動が停滞状況に陥りました。そこでピンチをチャンスにするため、オンライン形式に変更しての開催となりました。

当時、オンライン展示会は数える程しか開催されておらず、手探りの状態で企画・募集を開始しましたところ、多くの方々から申し込みをいただき、最終的には172社・団体の出展となりました。

本見本市開催に向けて、ほぼすべての出展者が得意とする技術、注目商品やサービスなどを来場者に短時間で知りたいことができるPR動画、写真やパンフレットなどを用意しました。また、当センターでは会期中にチャットやオンラインでの商談や名刺交換も可能な特設ホームページを構築し、オンライン商談対策セミナーを開催したり、オンライン商談ツールの

操作練習に取り組んでいただいたりして会期に臨みました。しかし来場登録者数が目標には届かず2日間で1,763人に留まり、会期初日は来場者からの商談が少ない状況だったため、急遽、出展者の皆様から来場者への逆アプローチを試みていただきましたが、結果は厳しいものとなりました。

要因としては、「イベント周知への注力・期間が足りなかった」「全国的にオンライン展示会、商談に慣れていない」「いきなりのオンライン商談はハードルが高い」など多々考えられます。一方、来場者からは「日程や場所に制限されずに参加できて良かった」、出展者からは「自社にいながら商談ができ、これからも増えるオンライン展示会を体験できて良かった」などの感想もあり、オンラインならではのメリットを感じていただくことができました。

これらの反省点や要因を分析するとともに、プラス評価を今後の開催に反映していきたいと考えています。特設ホームページは2021年7月末まで継続公開しますので、今後、何らかの仕掛けを行い、引き続き受発注のプラットホームとして活用していきます。

2nd Report

地場産インスタ どんどん投稿中!



Follow Me!

地場産Instagram

Instagramは世界中に10億人以上のユーザーがあり今も尚、増え続けているといいます。私たち地場産センターも昨年からInstagramをはじめました。発信のコンセプトは【燕三条の産業・食・風景】です。金属加工が取り上げられることが多いですがそれに付随する様々なコンテンツがあり、すべてがシンクロしています。動画や画像を投稿するInstagramは「インスタ映え」という言葉からもわかるようにフォトジェニックな商品やサービスと親和性があるようです。

Instagramはじめ、SNS利用者の増加に伴い、多くのフォロワーを獲得し、一定の影響力を持つわゆる「インフルエンサー」が台頭してきました。インフルエンサーの影響力を活用した「インフルエン

サーマーケティング」は動画やライブ配信と相性がよく現在では多数の大手企業にも採用されています。おとなり中国では宝石や車は当たり前、数億円もするロケットを売り切るインフルエンサーもいるとか、、信じられませんね。先日とあるインフルエンサーさんと一緒に撮影する機会があったのですが流石はプロです。そのスタイルに感激しました。自分の本当に気に入ったもの・良いものを多くの人に伝えたい!共感したい!そんな気持ちが伝わってきました。

いろんな可能性を秘めたInstagram…これからも全世界へ発信し続けます!!!皆さんも「インスタ映え」しそうなコト・モノがあれば取材させてください。よかつたらフォローお願いします!

